

~13  
3877  
3

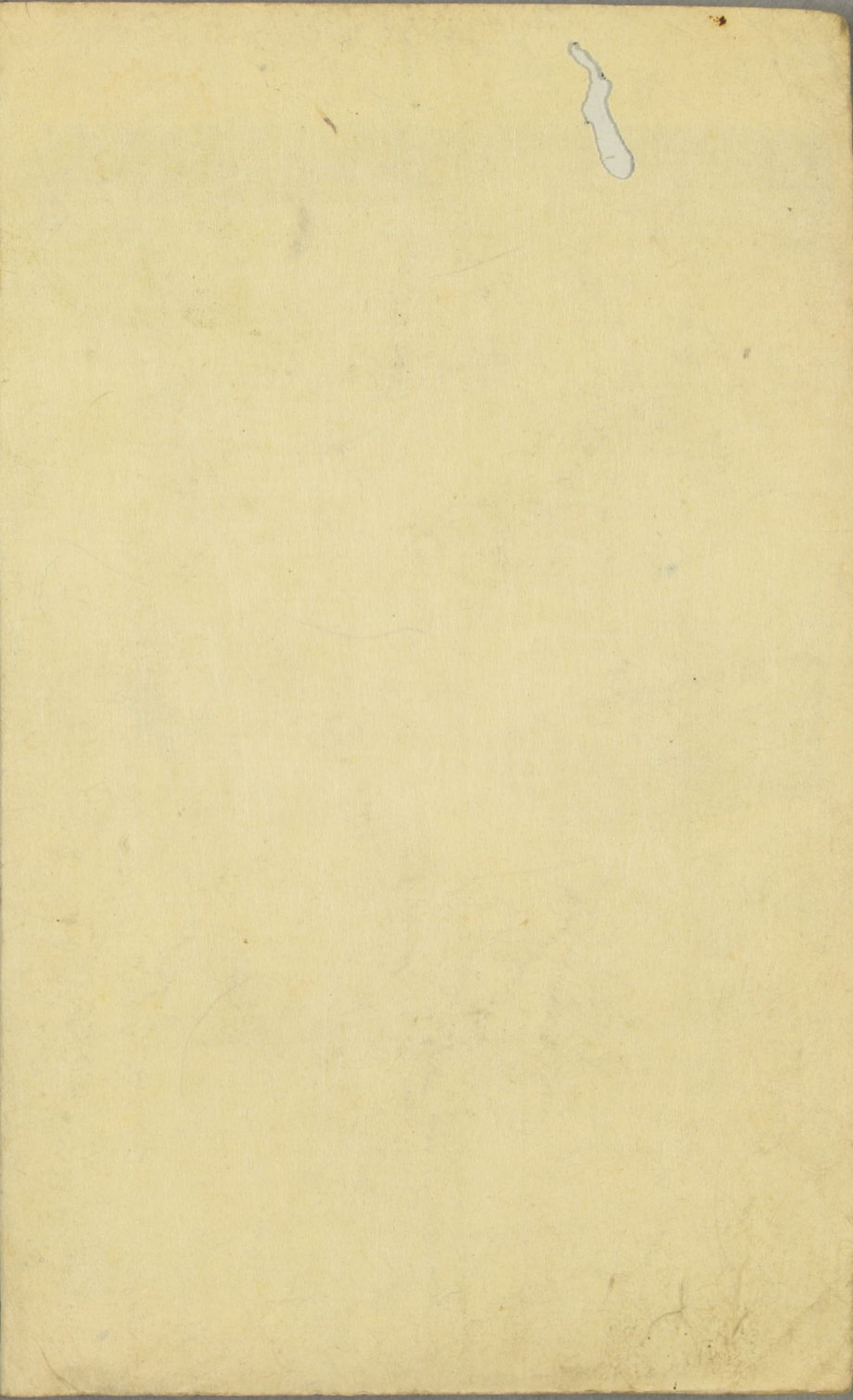






緑林豪傑譚

上



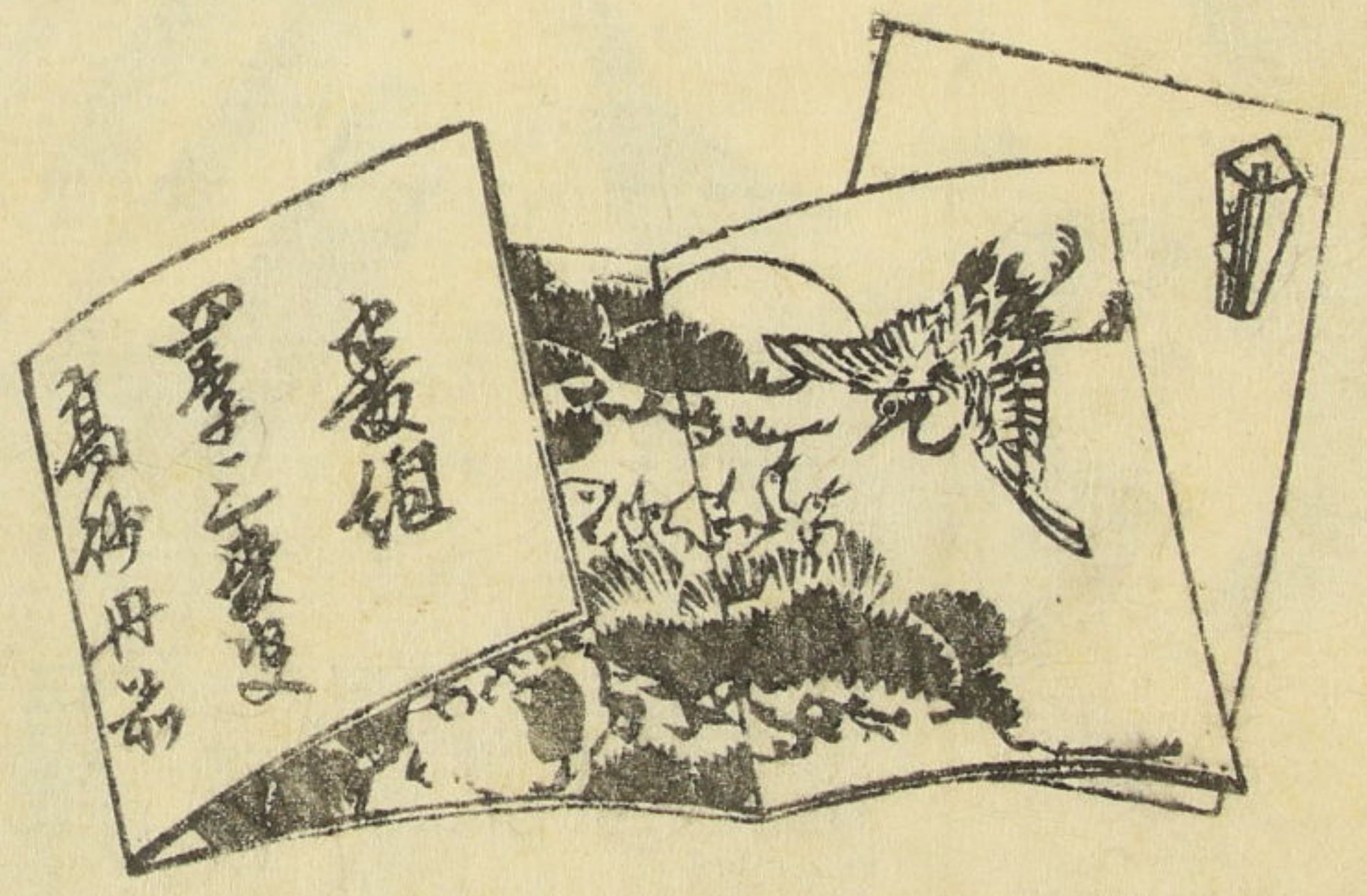


明 13  
3877

英園垣矣新紀  
於川粵園五

紅林  
豪傑傳

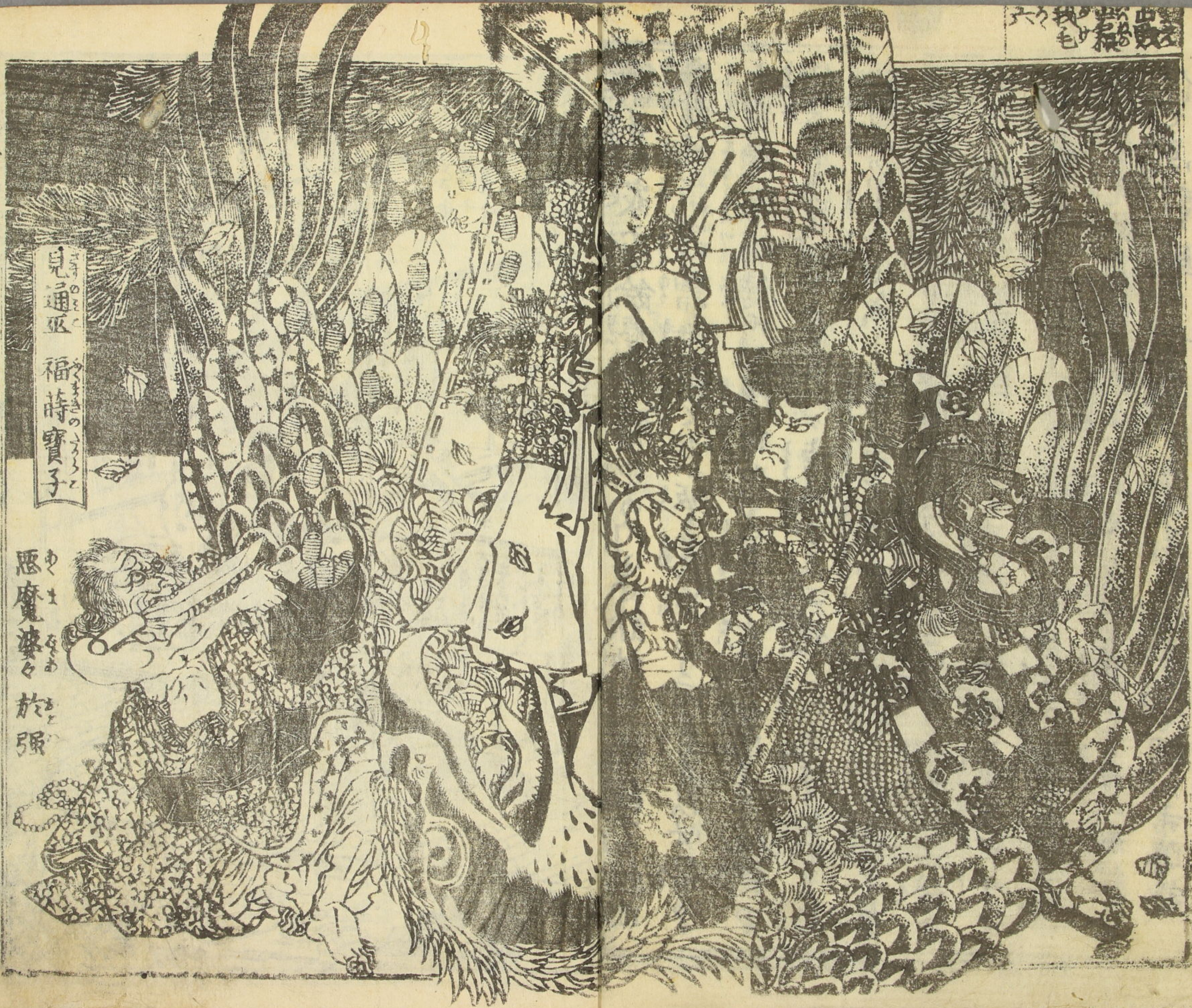
弘化之為  
新刊



積善の家必餘慶あり積悪の家必餘殃あり佛經云輪回  
應報儒説所謂汝不出て汝不飯者い是あり因有りの必果あり  
天運順環徳徳の以陽報あり合負福有る女房あり破鍋あり  
綴蓋あり道理で南蠻風が唐茄子と天然自然の理ありわん  
物造化の出来損ありて悪人業て善人業と薄命はて此より後  
天道よりの除すお釋迦さまの詮方也是二則身の因果あり後の  
身中て應報あり速迅い則天命の其理りを説曉し童蒙兒女  
勸善懲惡の助とありと表圖垣主の老婆心在遺稿を其終  
龜戸の先魁小猫筆の洞色を乞花を飾り掃木小毒人駟編を  
俟て高評を賜む幸甚とるを哀れ作者成て楓川市隱識



六つ我の山敷  
毛根

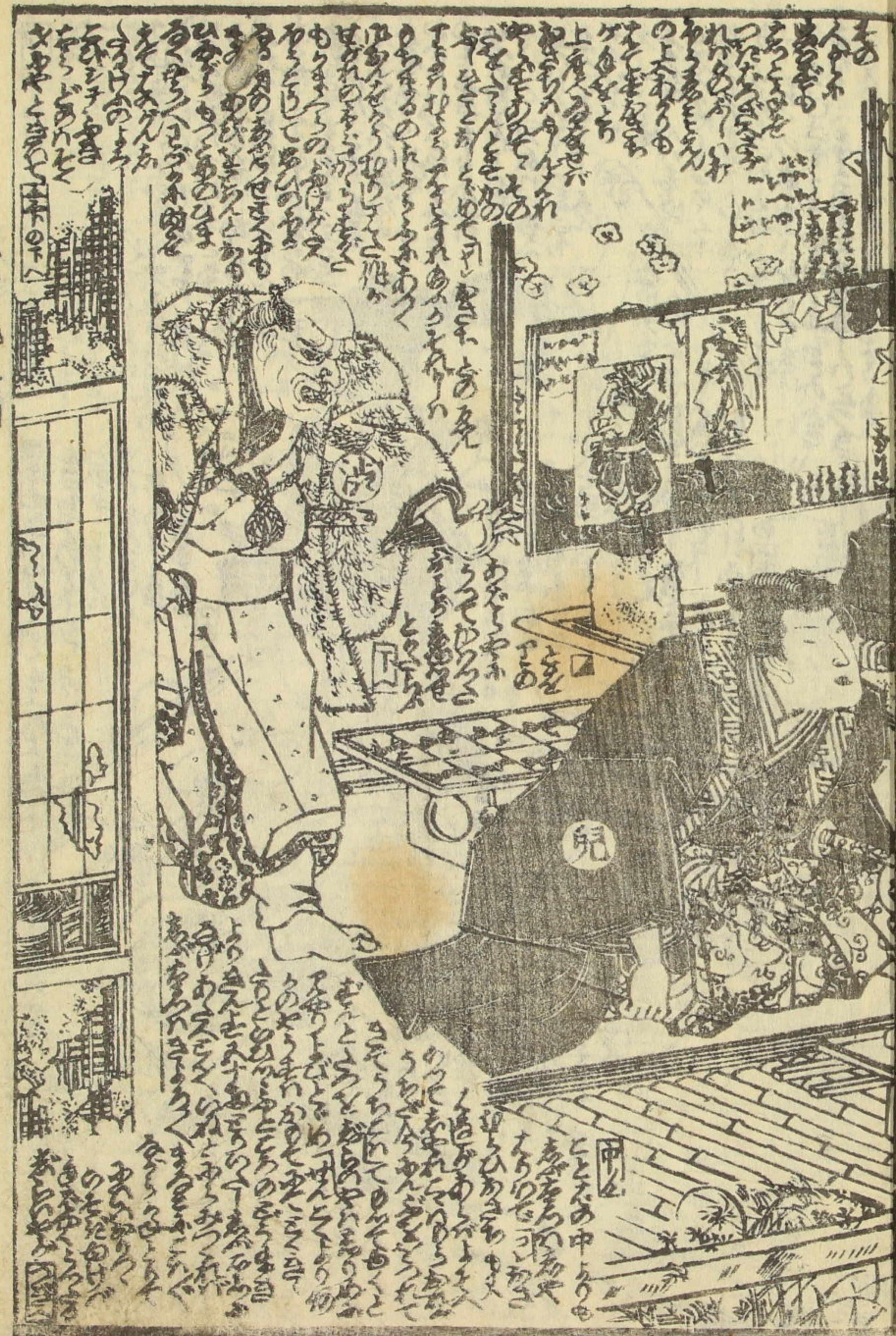


見通巫  
福時寶子

悪魔婆々  
於強

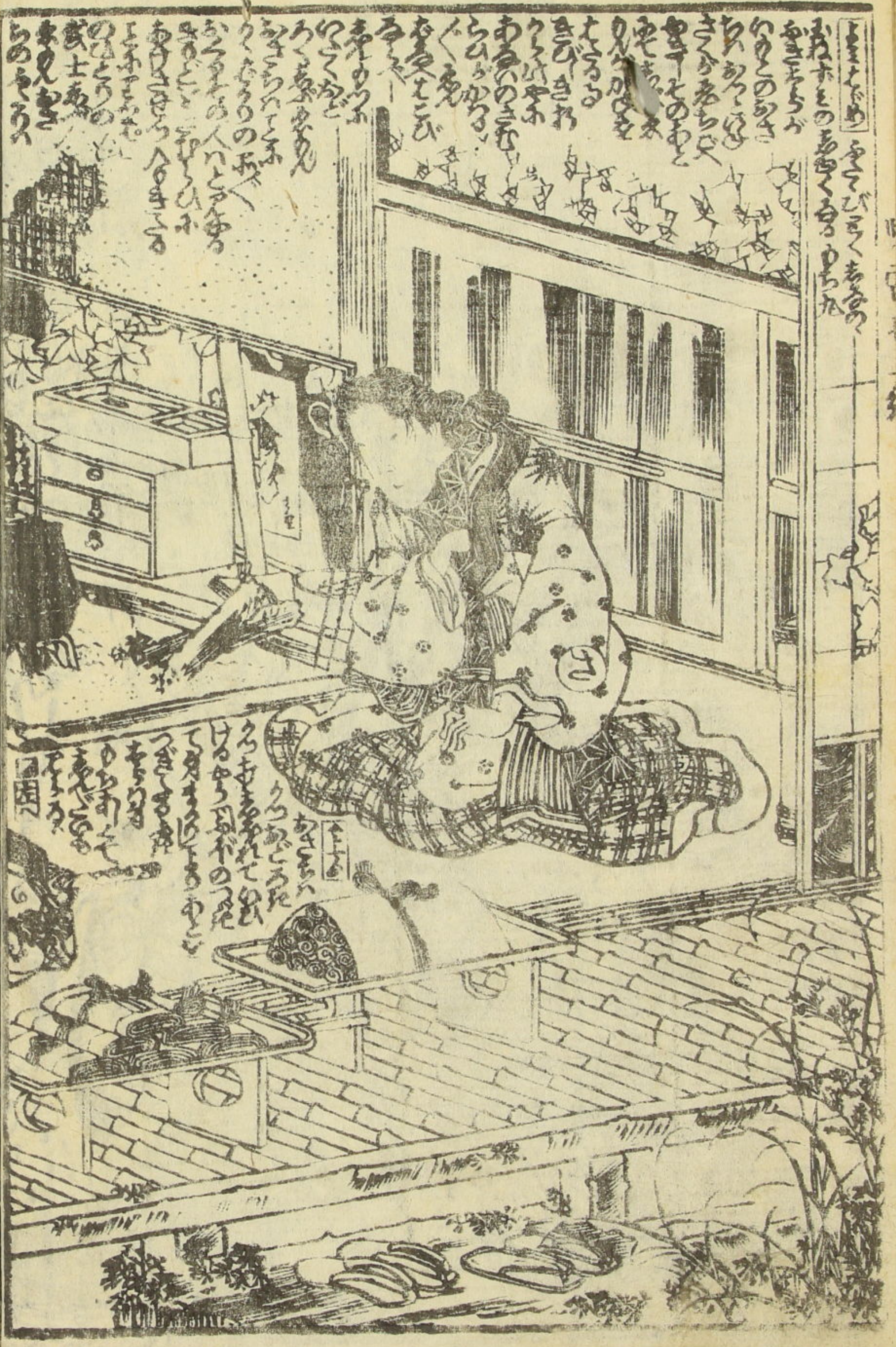
五篇





木下村の茶屋

11



木下村の茶屋... 茶屋の主人... 客の注文... 茶の淹れ... 湯の沸かす... 茶の淹れ... 湯の沸かす... 茶の淹れ... 湯の沸かす...

茶の淹れ... 湯の沸かす... 茶の淹れ... 湯の沸かす... 茶の淹れ... 湯の沸かす...

木下村の茶屋... 茶屋の主人... 客の注文... 茶の淹れ... 湯の沸かす... 茶の淹れ... 湯の沸かす...























ついでに申すに又もこのころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり  
ついでに申すに又もこのころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり  
ついでに申すに又もこのころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり



このころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり  
ついでに申すに又もこのころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり



このころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり  
ついでに申すに又もこのころに  
すやと云ふれはるるに  
天竺の舟のまもり



Vertical Japanese text at the top of the left page, likely serving as a preface or title for the scene below.



Vertical Japanese text at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration.

Vertical Japanese text at the top of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



Vertical Japanese text at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary.



嘉永七甲寅新板目錄

地本草紙問屋 芝神明前 和泉屋市兵衛板

小栗十騎 照天松標月鹿毛  
 金沢八景  
 初編 二編 三編  
 春風亭柳枝作  
 一雄齋國輝畫

今業平昔面影  
 六編 七編  
 仙果作  
 芳虎画

風俗淺間嶽  
 初編 二編  
 種久作  
 國貞画

黃金水大盡盃  
 初編 二編 三編  
 為永春水作  
 歌川國貞画

女郎花五色石臺  
 榎下高種員作  
 六編 七編 八編  
 一雄齋國輝画

小女郎蜘蛛心麻環  
 曲亭馬琴作  
 三編  
 大尾  
 一勇齋國芳画



豐國画笑顏作

Handwritten text surrounding the illustration, likely providing commentary or a narrative related to the scene. The text is written in vertical columns, typical of Japanese book annotations.



世二  
陽齋豊國画  
美圖垣笑顔作

下



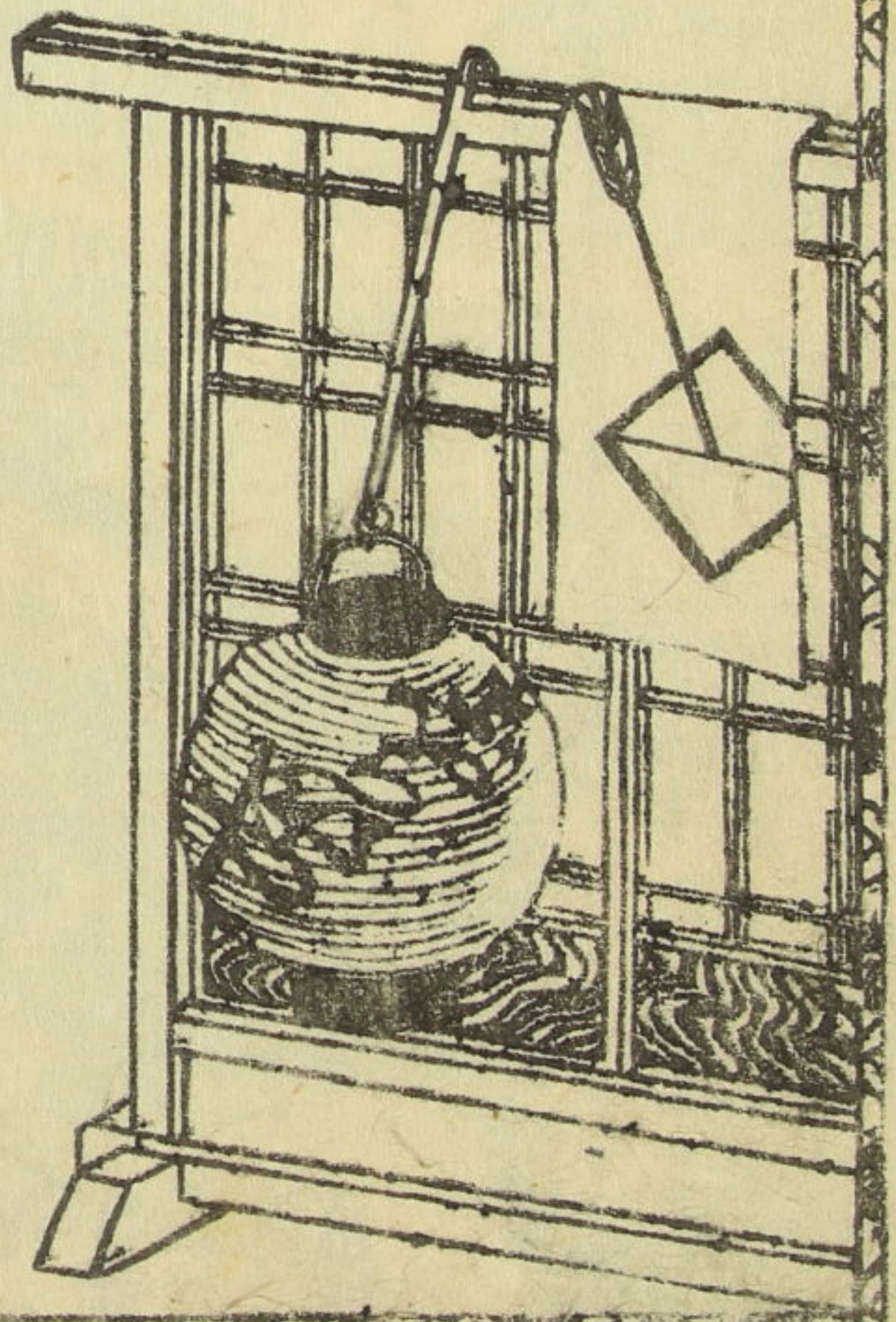


蝦蟆妖術  
大蛇怪異

保林

豪傑譚

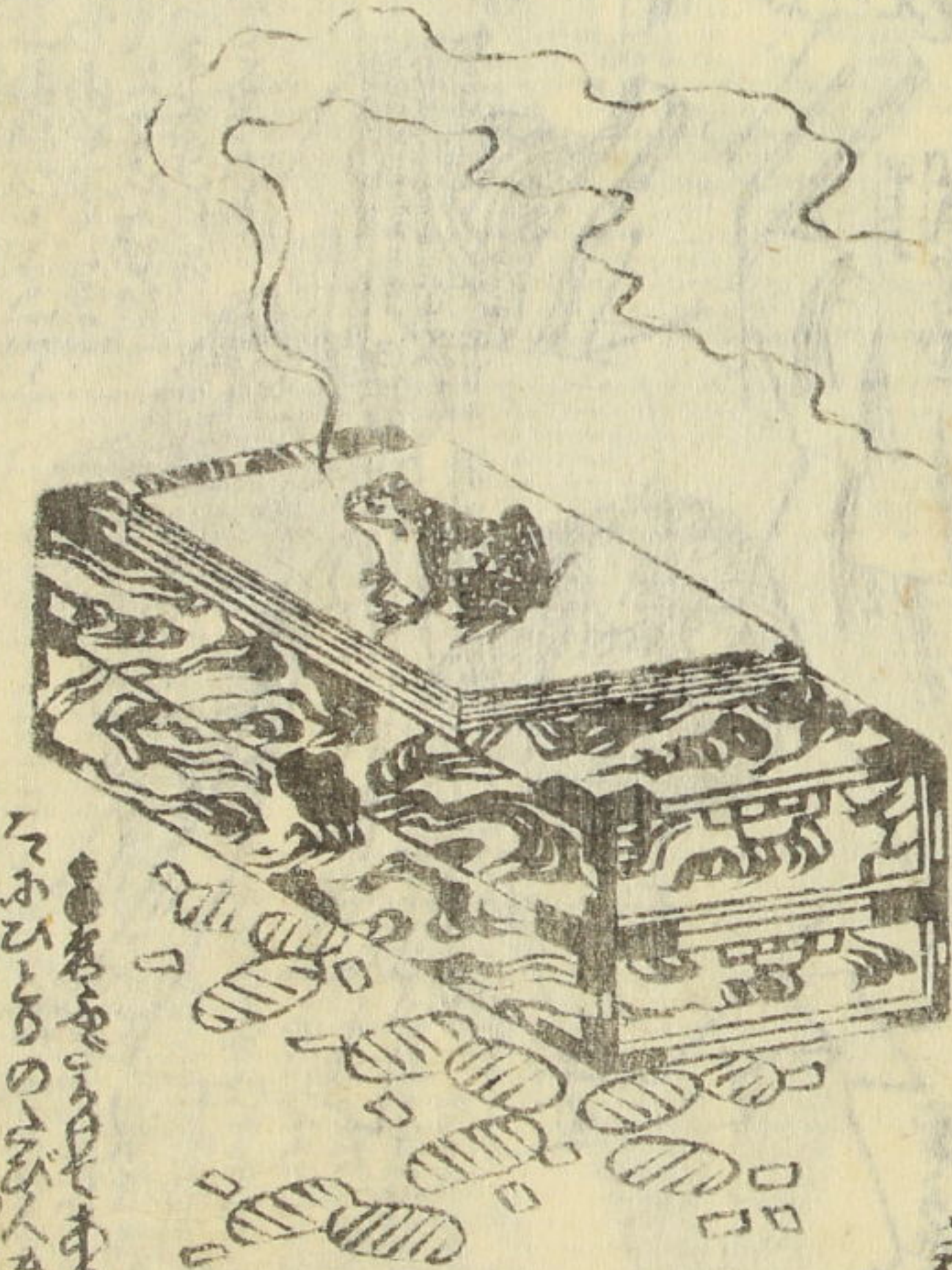
弘化三丙午春  
新鐫



美園垣笑顔作  
秋川豊國画

甘泉堂梓

白蛇の... 妖術... 大蛇... 豪傑譚... 弘化三丙午春... 新鐫



白蛇の... 妖術... 大蛇... 豪傑譚... 弘化三丙午春... 新鐫



おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
つとめおしよのしんがら...  
いせうていせうていせうていせうて  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ

おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ



おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ

おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ  
おきあゝおきあゝおきあゝおきあゝ



















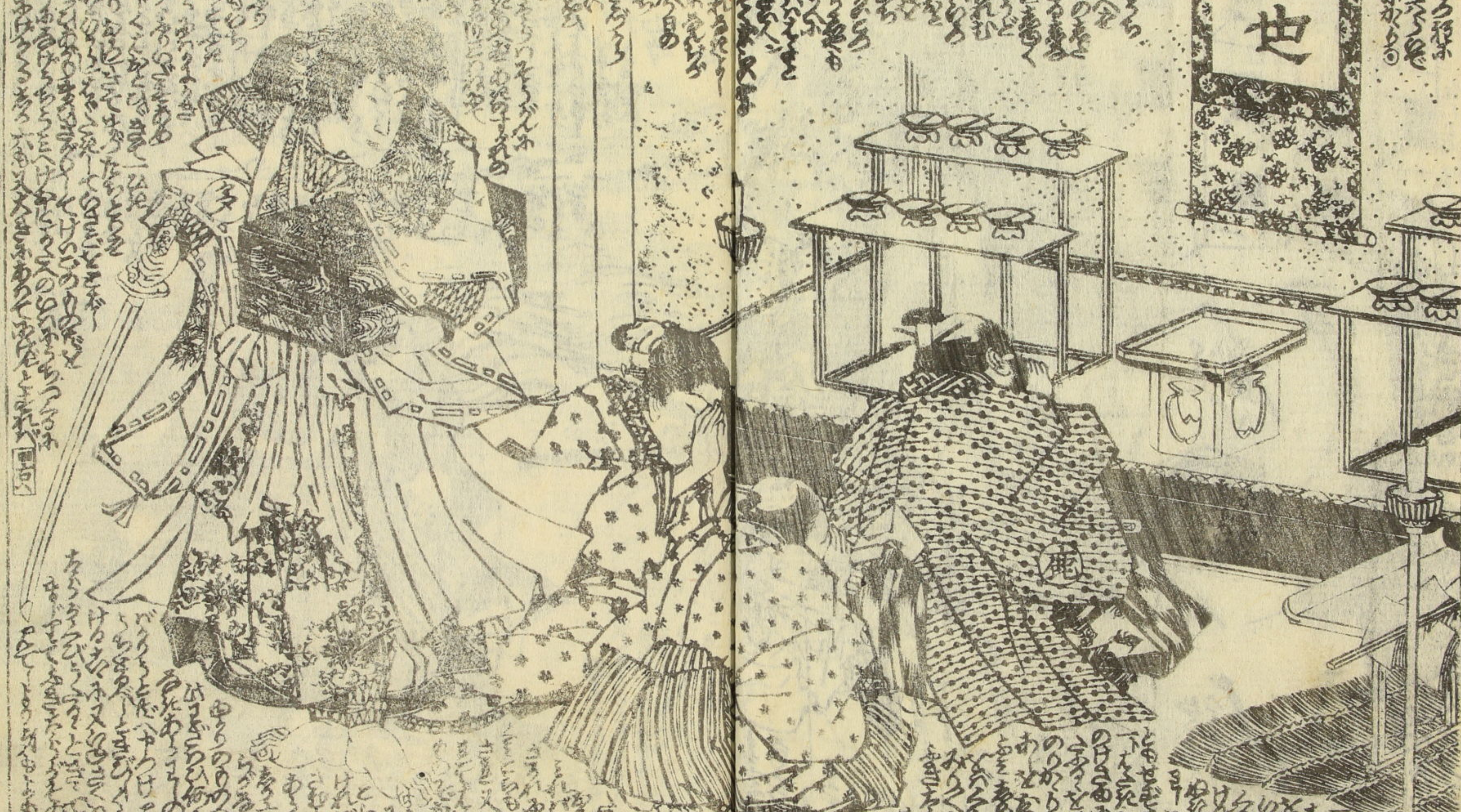


此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり

# 兒雷也

○此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり  
此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり

此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり  
此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり



此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり  
此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり

此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり  
此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり

此の世に生るる者は  
皆て此の世に死すべし  
と云ふは誠なり

十一















美圖垣笑顔作

一

美圖垣笑顔作



世二陽齋國輝画

# 兒雷也豪傑譚

廿四編  
廿五編  
廿六編  
廿七編

柳下亭種員作  
一雄齋國輝画

# 楠二代軍記

二編

海望亭作  
芳虎画

# 櫻紅葉命棧

二冊

琴彦作  
芳虎画

# 新編金瓶梅

十編

馬琴作  
大尾豐國畫

# 假名一休草紙

五編 六編 七編  
高年奉出  
柳下亭種員作  
一雄齋國輝画

# 地本錦繪問屋

芝神明前

甘泉堂和泉屋市兵衛板



綠林  
豪傑  
譚

美圖垣笑顏作

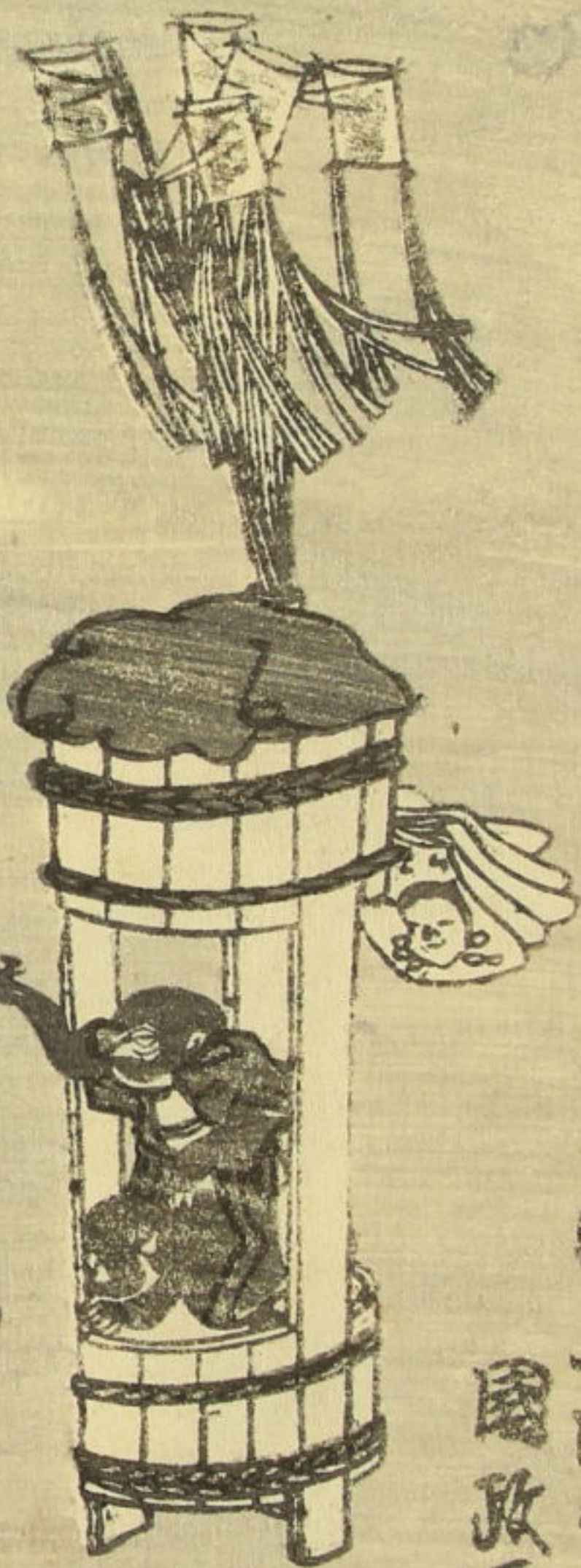




蝦蟆妖術  
大蛇怪異

綠林  
豪傑譚

弘化三年  
丙午新板



門人  
國政画

笑顏作  
豐國画

甘泉堂梓

三光有影誰能勤萬事無根只自分  
雪隱鷺鷥飛始見抑藏鸚鵡語方聞

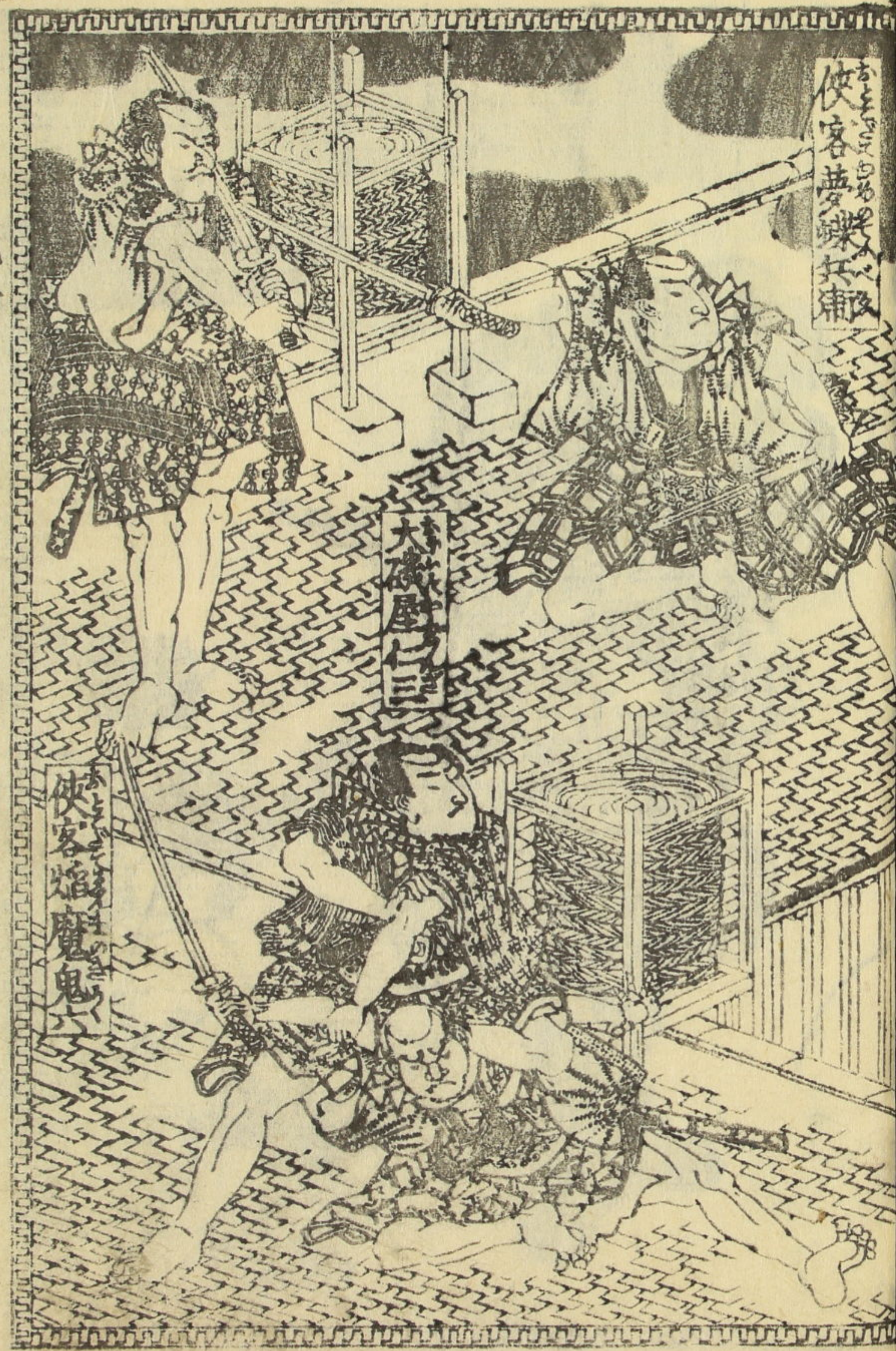
下男野呂作

弘化三年  
丙午孟陽  
美圖垣笑顏筆記



弘化三年  
丙午孟陽  
美圖垣笑顏筆記



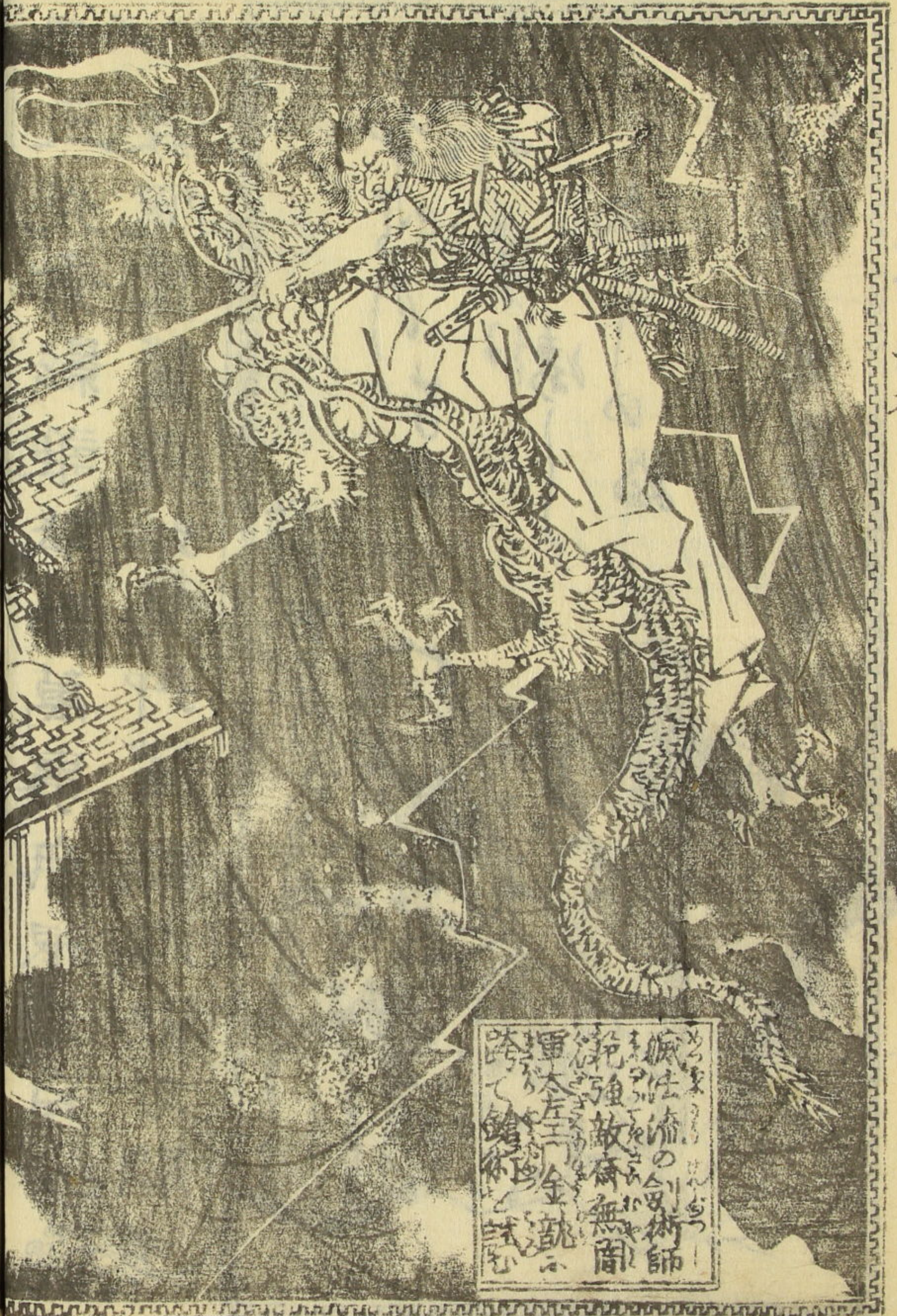


使客 魔鬼

使客 夢蝶 共輔

大層

使客 魔鬼



此は流の術師  
強敵無間  
踏破金流  
鎗試



三ノ巻

猿  
曳  
松  
兵  
衛



世  
の  
中  
於  
由  
館  
賣



三ノ巻















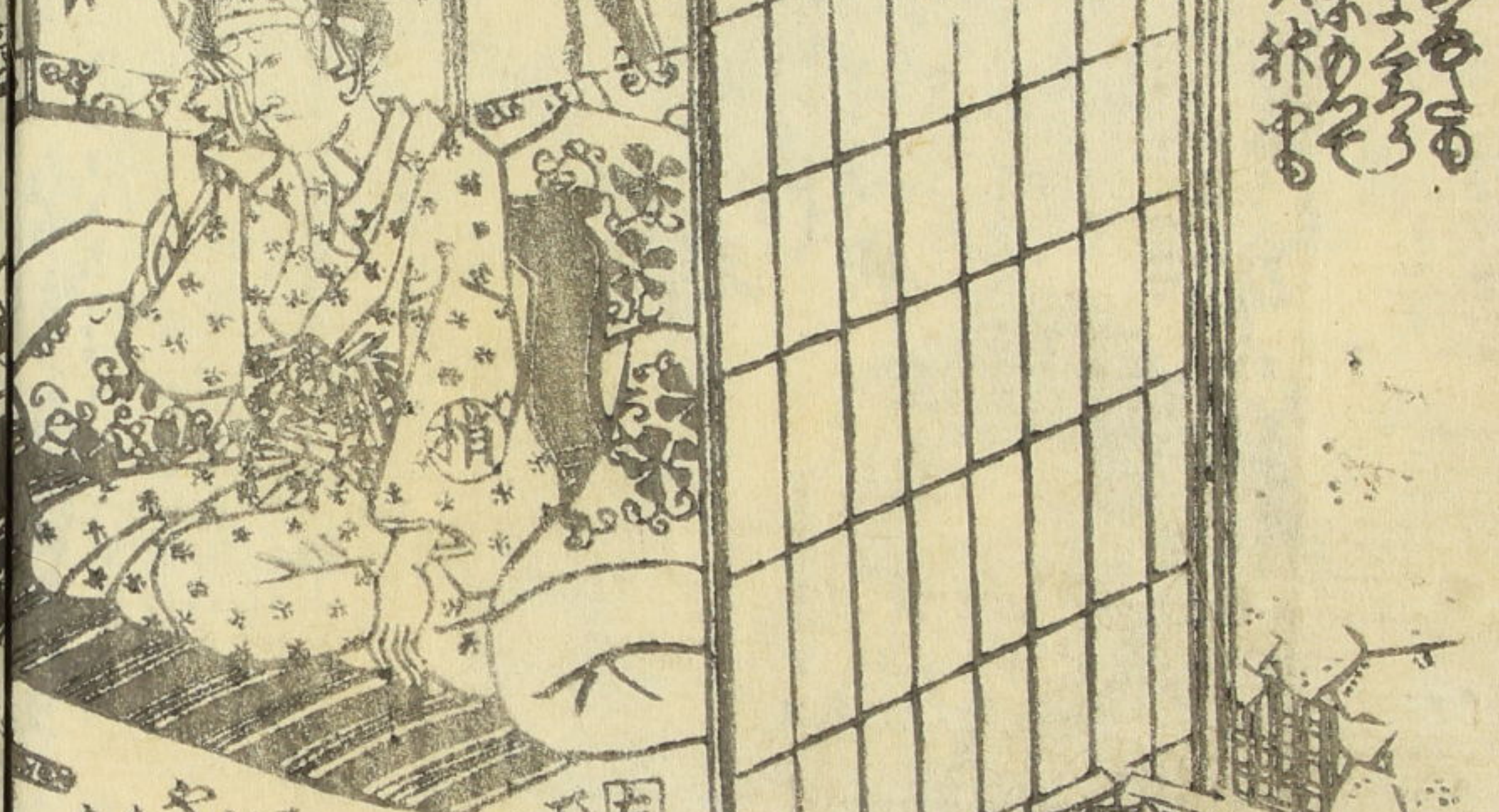




この日か...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

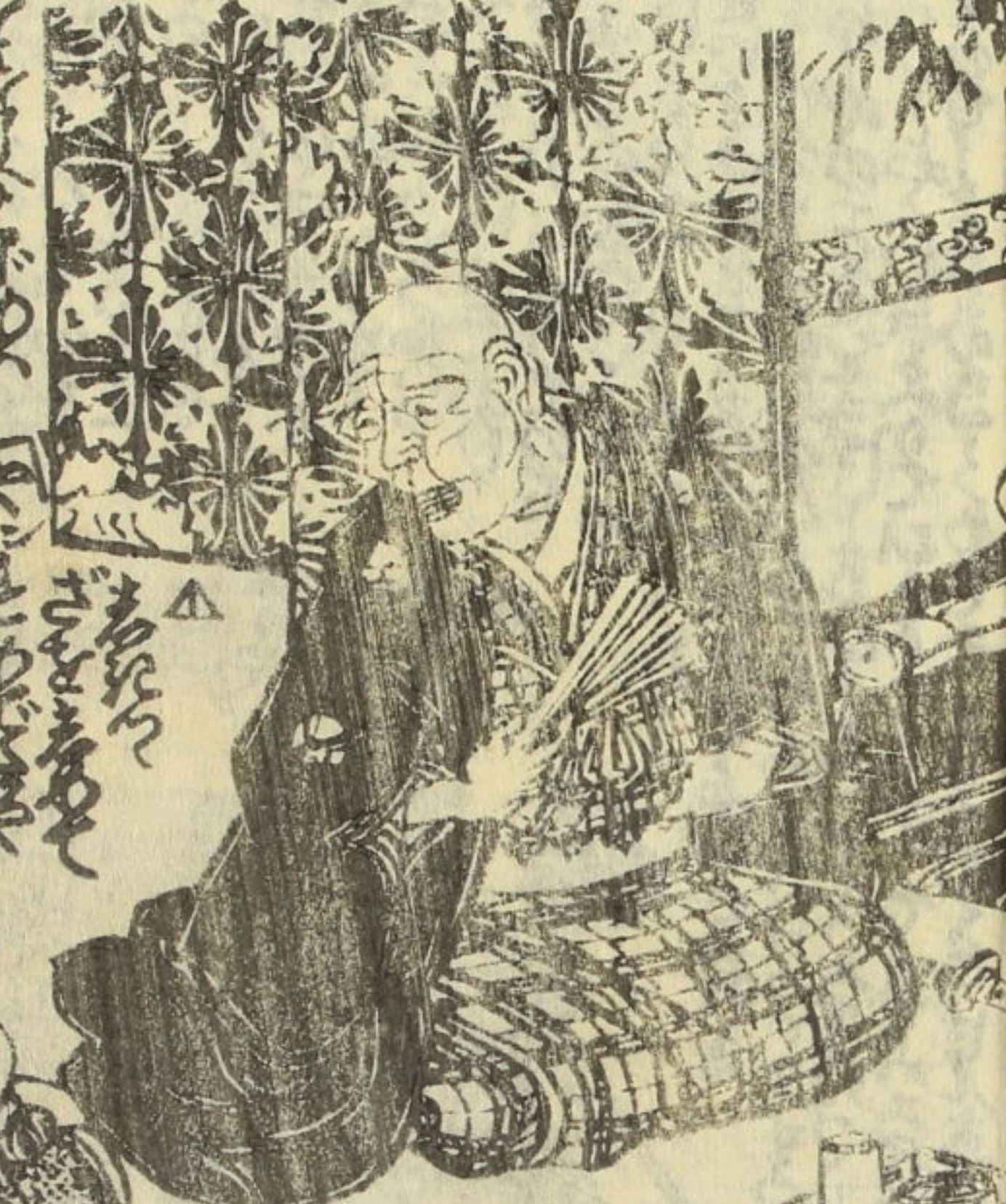


あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...



あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...



あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

あつた...  
あつた...  
あつた...  
あつた...

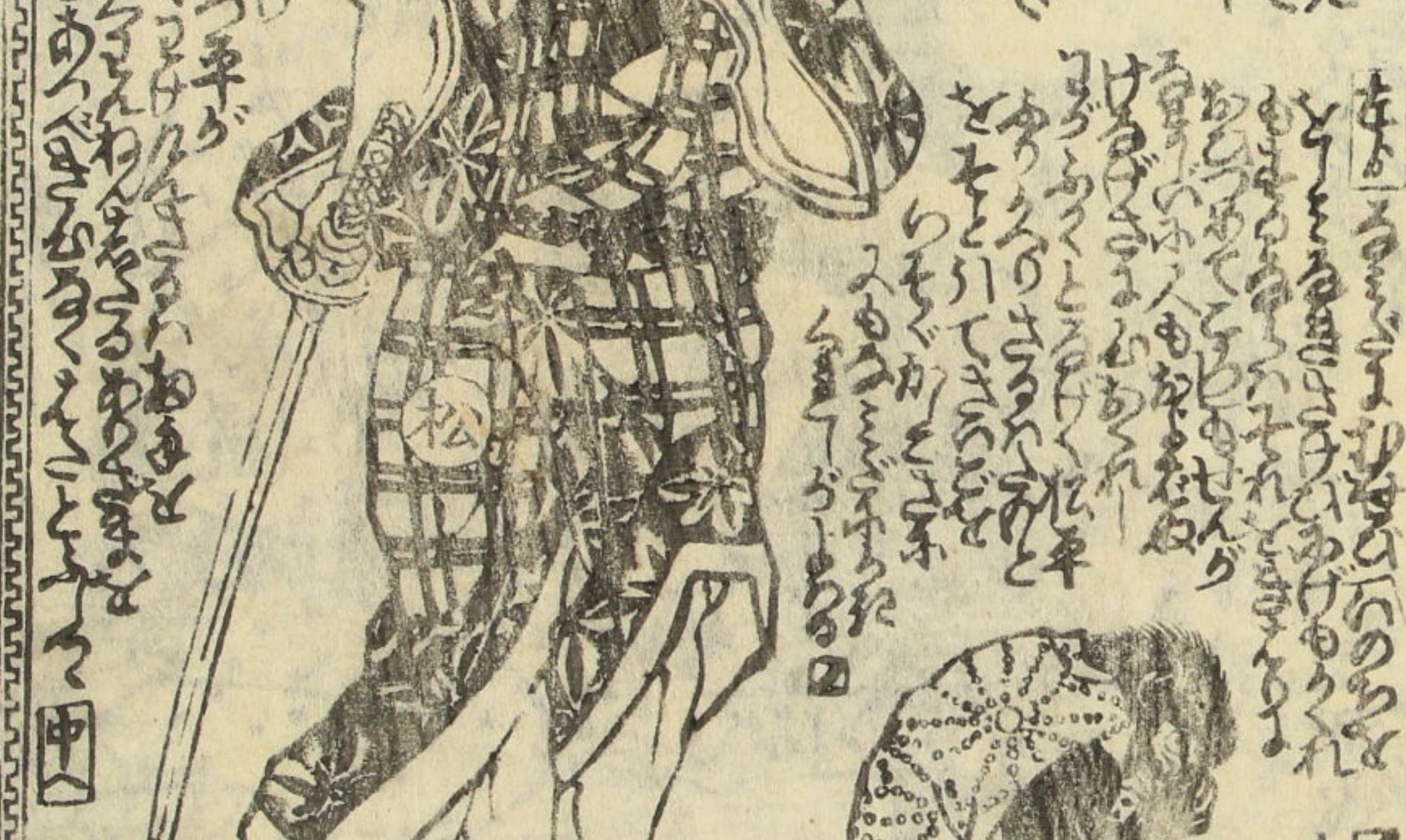


ついでこれより... 男の... 女の... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也...



申す... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也...

ついでこれより... 男の... 女の... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也...



申す... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也... 冠雷世也...











一陽齋豊國画



丙午新彫

先代





























見世田中下



見世田中下















嘉永六年癸丑孟陬發市標目

美圖坦笑顏作一陽齋豐國画



兒雷也豪傑譚

世一篇 柳下亭種員作  
世二篇 一雄齋國輝画  
世三篇

今業平昔面影

笠亭仙果作  
一猛齋芳虎画  
六篇 七篇

祥瑞白菊物語

綠亭川柳作  
錦朝樓芳虎画  
五篇 六篇

新編金瓶梅全輯

自初編 曲亭馬琴翁作  
至十編 一陽齋豐國画  
大尾

書肆甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版







笑顏作  
畫

綠林

亭傑

亭傑

弘化三年春  
新取



甘泉堂